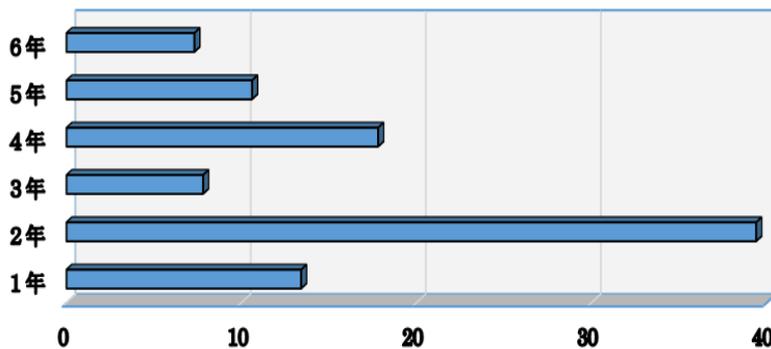




読書に関する調査

小高小の子どもたちは、1ヶ月にどのくらい本を読んでいるのでしょうか。調査したところ以下のような結果となりました。

各学年の一人当たりの1ヶ月の平均冊数
(マンガや雑誌などを除く)



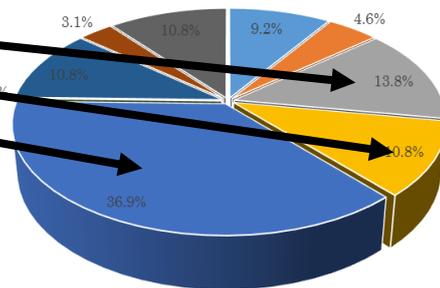
平均冊数	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	13.4	39.4	7.8	17.8	10.6	7.8

人数や発達段階の関係もありますが、本校で、特にがんばっているのは、2年生と4年生のようです。特に1ヶ月に8冊以上本を読む児童は、2年生が全員で、4年生が8人となっています。1冊も読まなかった児童はいませんでした。

また「読書したきっかけ」について尋ねると、「先生に紹介された」や「学校の図書館で見つけた」が多く、読書環境

友だちに紹介された	9.2%
家族に紹介された	4.6%
先生に紹介された	13.8%
教科書に載っていた	10.8%
学校の図書館で見つけた	36.9%
公共の図書館で見つけた	0.0%
本屋で見つけた	10.8%
新聞・雑誌・テレビなどで見た	3.1%
その他	10.8%

に学校が大きく関わっていることがはっきりしました。



読書月間 多読賞



12月最後の全校集会で読書月間 多読賞の表彰を行いました。受賞者は、次のとおりです。

(敬称略)

1年	五十嵐 琴音	2年	清信 晴音
3年	大内 凌那	4年	門馬 千晃
5年	鈴木 莉子	6年	梅田 夏希

「本は心の栄養」です。わくわくドキドキのお話をこれからも楽しんで下さい。

自動車のリサイクルを学ぶ

11月26日（木）、4年生が「シマ商会」に見学に行きました。4年生は総合的な学習の時間に、環境について学んでいます。特に、シマ商会で行っている自動車のリサイクルは、勤務している保護者の方に説明いただいたこともあり高い関心をもって学んできたようです。

中国の大気汚染や、環境国際会議の記事が紙面を賑わ



しましたが、自分たちの身近にある企業と世界がつながっていることを感じてもらえる学習になればと思います。



苗木のスクールステイ

平成30年に第69回全国植樹祭が南相馬市で開催されることが決定しました。全国植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する国民的理解を深めるために、緑化推進機構と都道府県の共催で行われている国土緑化運動です。

植樹祭では、天皇・皇后両陛下によるお手植え・お手播きとともに、参加者による植樹活動を行います。今回は、その時に植樹する苗木を市内すべての学校で預かり、育てる取り組みです。



11月26日（木）、小高区4校の5年生が、「福島県もりの案内人の会」のみなさんから、説明をいただきながら、いただいた苗木やどんぐりを鉢植えしました。

年間を通して、水やりをして、育成記録もつけていきます。継続した取り組みとなりますので、活動への関心を持ち続けてがんばらせたいと考えています。



